# 歴史の流れ 1 縄文・弥生

## 前半 自然の恵みを利用する暮らしから米づくりへ

めあて　縄文と弥生の暮らしを比べ、くにの誕生につなげる。

### 1 まず読んで場面を思い浮かべる

縄文時代には、狩り・漁・採集で食料を得て、土器で煮炊きをしながらむらで暮らしました。弥生時代には、大陸から伝わった水田稲作が広がりました。土地や米を多く持つ有力者が現れ、むらをまとめるくにが生まれていきました。

### 2 重要な言葉を書き込む

語群　邪馬台国 ／ 貧富 ／ 縄文土器 ／ 卑弥呼 ／ 稲作

縄文時代の土器を【1】（　　）という。

弥生時代に広がった、水田で米をつくる農業は【2】（　　）である。

土地や米を多く持つ人が現れ、【3】（　　）の差が生まれた。

3 世紀ごろ、邪馬台国を治めていた女王は【4】（　　）である。

卑弥呼が治め、中国の魏に使いを送ったくには【5】（　　）である。

### 3 縄文と弥生を比べよう

語群　高床倉庫 ／ 狩り・漁・採集

| 時期や場面 | 出来事や変化 |
|---|---|
| 縄文 | 【6】（　　）などで、自然から食料を得る。 |
| 弥生 | 稲作で米をつくり、【7】（　　）などに保存する。 |
| 社会の変化 | 土地や米を多く持つ有力者が現れる。 |
| 3 世紀ごろ | 邪馬台国の卑弥呼が、魏に使いを送る。 |

### 4 自分の言葉でまとめよう

「縄文」「弥生」「稲作」を使って、食料の得方の変化を 1 文で書こう。

# 歴史の流れ 1 縄文・弥生

## 後半 米づくりからむらとくにの変化を考える

めあて　道具の役割と、稲作による社会の変化を説明する。

米は保存できる食料です。土地や収穫した米を多く持つ人は、豊かになり力を持ちました。米づくりに必要な土地や水をめぐる争いも起こり、有力者が周りのむらをまとめて、くにをつくっていきました。

### 1 稲作と社会の変化をつなごう

語群　くに／争い／貧富

土地や米を多く持つ人が現れ、【1】（　　）の差が生まれる。
↓
土地や水をめぐり、むら同士の【2】（　　）も起こる。
↓
有力者が周りのむらをまとめて、【3】（　　）をつくる。

### 2 理由や変化を説明しよう

問 1　縄文時代の人々が、土器で食べ物を煮たのはなぜだろう。
ヒント　硬い食べ物／やわらかく／食べやすい

問 2 もう一歩　稲作が広がると、なぜ貧富の差が生まれたのだろう。
ヒント　土地／収穫した米／多く持つ人

### 3 古い順に並べよう

ア　卑弥呼が魏に使いを送る
イ　縄文土器を使う生活が広がる
ウ　大きな前方後円墳がつくられる
エ　水田稲作が広がる

古い順（　）→（　）→（　）→（　）

### 4 次へつなぐ

語群　ヤマト政権

次の古墳時代には、大王を中心とする【4】（　　）が力を強める。飛鳥時代には、天皇を中心とする国づくりが進む。

「稲作」「有力者」「くに」を使って、社会の変化を書こう。

弥生時代にも狩り・漁・採集は続いた。暮らしが一度にすべて変わったわけではない。

# 歴史の流れ 2 古墳・飛鳥

## 前半 豪族のまとまりから天皇中心の国へ

めあて　古墳、ヤマト政権、大陸の制度を学ぶ国づくりをつなげる。

### 1 まず読んで場面を思い浮かべる

古墳時代には、大王を中心に有力な豪族が結びつき、ヤマト政権が力を強めました。大きな古墳は支配者の力を表しています。飛鳥時代には、大陸から伝わった仏教や制度を取り入れ、天皇を中心とする国づくりが進みました。

### 2 重要な言葉を書き込む

語群　大宝律令 ／ 聖徳太子 ／ ヤマト政権 ／ 大化の改新 ／ 前方後円墳

大王を中心に有力な豪族が結びついた政権を【1】（　　）という。

前が四角形、後ろが円形の古墳を【2】（　　）という。

冠位十二階や十七条の憲法を定めたとされる人物は【3】（　　）である。

645 年の政変を出発点とする改革を【4】（　　）という。

701 年に定められた法律は【5】（　　）である。

### 3 国づくりの順序を確かめよう

語群　法律 ／ 小野妹子

| 時期や場面 | 出来事や変化 |
|---|---|
| 古墳時代 | 大王や豪族が力を持ち、大きな古墳をつくる。 |
| 6 世紀 | 朝鮮半島の百済から仏教が伝わる。 |
| 607 年 | 【6】（　　）が遣隋使として中国へ行く。 |
| 645 年以降 | 中大兄皇子と中臣鎌足らが改革を進める。 |
| 701 年 | 律と令という【7】（　　）に基づく国の仕組みが整う。 |

### 4 自分の言葉でまとめよう

「豪族」「天皇」を使って、政治の変化を 1 文で書こう。

# 歴史の流れ 2 古墳・飛鳥

## 後半 大陸から学んで国を整える

めあて　使節を送る目的と、国づくりに法律が必要な理由を考える。

飛鳥時代には、隋や唐へ使節を送り、法律・政治の制度・文化を学びました。白村江の戦いで唐・新羅に敗れた後は、国の防備や政治の整備も進められました。役人の仕事や税などを法律で定め、国全体を治める仕組みを整えました。

### 1 大陸の制度と国づくりをつなごう

語群　天皇 ／ 使節 ／ 法律

隋や唐に【1】（　　）を送り、制度や文化を学ぶ。
↓
学んだ仕組みを取り入れ、律令という【2】（　　）を整える。
↓
【3】（　　）を中心に、全国を治める仕組みができていく。

### 2 理由や変化を説明しよう

問 1　隋や唐へ使節を送ったのは、何を学ぶためだったのだろう。
ヒント　政治の制度／法律／文化

問 2 もう一歩　広い国を治めるために、なぜ共通の法律が必要なのだろう。
ヒント　役人の仕事／税／共通の決まり

### 3 古い順に並べよう

ア　大宝律令が定められる
イ　大きな前方後円墳がつくられる
ウ　大化の改新が始まる
エ　小野妹子が遣隋使として送られる

古い順（　　）→（　　）→（　　）→（　　）

### 4 次へつなぐ

語群　平城京

710 年には、奈良に【4】（　　）がつくられる。飛鳥時代から進めた律令にもとづく政治が、奈良時代にも続く。

「大陸」「法律」「天皇」を使って、飛鳥時代の国づくりを書こう。

古墳・飛鳥の年代区分には重なりがある。まずは、古墳と豪族の時代から律令国家へ進む流れを押さえよう。

# 歴史の流れ 3 奈良・平安

## 前半 天皇と貴族の政治をつなぐ

めあて　都の移り変わりと、天皇・貴族の政治を整理する。

### 1 まず読んで場面を思い浮かべる

飛鳥時代から進められた天皇中心の国づくりは、奈良時代にも続きました。律令という法律をもとに政治を行い、人々から税を集めました。聖武天皇は仏教の力で国を守ろうとしました。平安時代には、天皇との結びつきを強めた藤原氏などの貴族が、大きな力を持ちました。

### 2 重要な言葉を書き込む

語群　国風文化 ／ 平安京 ／ 聖武天皇 ／ 摂関政治 ／ 平城京

710 年に、現在の奈良市につくられた都は【1】（　　）である。

東大寺の大仏をつくらせたのは【2】（　　）である。

794 年に、現在の京都市につくられた都は【3】（　　）である。

藤原氏が摂政や関白となって行った政治を【4】（　　）という。

かな文字が広まり、日本の風土や生活に合う【5】（　　）が発達した。

### 3 都と政治の中心の移り変わり

語群　武士 ／ 藤原道長

| 時期 | 主な出来事や変化 |
|---|---|
| 奈良時代 | 天皇を中心に、律令にもとづく政治を行う。 |
| 平安時代の初め | 桓武天皇が都を平安京へ移す。 |
| 11 世紀ごろ | 【6】（　　）のころ、藤原氏の摂関政治が栄える。 |
| 平安時代の終わり | 地方で力をつけた【7】（　　）が、政治でも活躍する。 |

### 4 自分の言葉でまとめよう

「天皇」と「貴族」を使って、この時期の政治の中心を 1 文で書こう。

# 歴史の流れ 3 奈良・平安

## 後半 貴族の力と武士の登場を考える

めあて　藤原氏が力を持つ理由と、武士が登場する理由を考える。

藤原氏は娘を天皇のきさきにし、その子が天皇になると、天皇の母方の親族として政治を助けながら力を持ちました。一方、地方では土地をめぐる争いも起こりました。豪族などが武力で土地を守るようになり、武士としてまとまっていきました。

### 1 藤原氏が力を持つ仕組みを書こう

語群　摂関政治 ／ きさき ／ 結びつき

藤原氏の娘が、天皇の【1】（　　）になる。
↓
その子が天皇になり、藤原氏との【2】（　　）が強まる。
↓
藤原氏が摂政や関白となり、【3】（　　）を行う。

### 2 理由や変化を説明しよう

問 1　藤原氏は、天皇とどのような関係をつくって政治の力を強めましたか。
ヒント　娘／きさき／天皇の母方の親族

問 2 もう一歩　地方で武士が登場したことは、土地をめぐる争いとどう関係しますか。
ヒント　土地を守る／武力／まとまる

### 3 古い順に並べよう

ア　藤原氏の摂関政治が栄える
イ　都が平安京へ移る
ウ　地方で力をつけた武士が政治でも活躍する
エ　都が平城京へ移る

古い順（　　）→（　　）→（　　）→（　　）

### 4 次へつなぐ

語群　源頼朝

平安時代の終わりには武士の平氏や源氏が力を持つ。やがて源氏の【4】（　　）が鎌倉幕府を開き、武士による政治が本格的に始まる。

平安時代から鎌倉時代へ、政治を担う人はどう変わるのだろう。

鎌倉幕府ができた後も、天皇や朝廷は残った。政治の中心は少しずつ変化した。

# 歴史の流れ 4 鎌倉・室町

## 前半 武士の政治の仕組みをつかむ

めあて　幕府を開いた人物と、幕府が弱まる出来事をつなげる。

### 1 まず読んで場面を思い浮かべる

源頼朝は鎌倉幕府を開きました。将軍は御家人の領地を保障し、御家人は軍役などを果たしました。鎌倉時代には元が日本に攻めてきました。その後、鎌倉幕府がほろび、足利尊氏が室町幕府を開きました。室町時代の後半には、幕府の力が弱まっていきました。

### 2 重要な言葉を書き込む

語群　応仁の乱 ／ 足利尊氏 ／ 元寇 ／ 源頼朝 ／ 御恩と奉公

鎌倉幕府を開いた人物は【1】（　　）である。

将軍と御家人の、領地と軍役などを通した結びつきを【2】（　　）という。

元が 2 度にわたって日本に攻めてきた出来事を【3】（　　）という。

1338 年に征夷大将軍となり、室町幕府を開いたのは【4】（　　）である。

1467 年に始まり、戦国時代につながった戦乱を【5】（　　）という。

### 3 武士の政治の大きな流れ

語群　足利義満 ／ 北条時宗

| 時期 | 主な出来事や人物 |
|---|---|
| 12 世紀末 | 源頼朝が鎌倉幕府を開く。 |
| 1274 年<br>1281 年 | 元寇のときの執権は【6】（　　）である。 |
| 1333 年<br>1338 年 | 鎌倉幕府がほろび、その後、室町幕府が成立する。 |
| 1392 年<br>1404 年 | 【7】（　　）が南北朝を統一。その後、明との勘合貿易を始める。 |
| 1467 年以降 | 応仁の乱をきっかけに、戦国時代へ進む。 |

### 4 自分の言葉でまとめよう

「御恩と奉公」を使って、将軍と御家人の関係を 1 文で書こう。

# 歴史の流れ 4 鎌倉・室町

## 後半 幕府の弱まりから戦国の動きへ

めあて　元寇後の幕府の課題と、戦国の動きが広がる理由を考える。

元寇は日本を守る戦いだったため、新しい土地を十分に得られず、幕府は御家人に十分な恩賞を与えられませんでした。御家人の暮らしの悪化や幕府内の争いなども重なり、鎌倉幕府は弱まりました。のちの室町時代には、応仁の乱で幕府の力が弱まり、各地で戦国大名が争いました。

### 1 元寇と御家人の不満をつなごう

語群　不満 ／ 守る ／ 恩賞

元寇は、日本を【1】（　　）戦いだった。
↓
新しい土地が得られず、十分な【2】（　　）を与えられない。
↓
費用もかかった御家人の【3】（　　）が高まる。

### 2 理由や変化を説明しよう

問 1　元寇の後、幕府はなぜ御家人に十分な恩賞を与えられなかったのですか。
ヒント　日本を守る戦い／新しい土地

問 2 もう一歩　応仁の乱の後、なぜ各地で戦国大名が争うようになったのですか。
ヒント　幕府の力が弱まる／領地／自分の力

### 3 古い順に並べよう

ア　応仁の乱が始まる
イ　源頼朝が鎌倉幕府を開く
ウ　足利尊氏が室町幕府を開く
エ　元寇が起こる

古い順（　）→（　）→（　）→（　）

### 4 次へつなぐ

語群　戦国大名

室町幕府の力が弱まると、各地で【4】（　　）が領地を広げようと争った。次の単元では、信長や秀吉による全国統一を学ぶ。

「幕府の力」と「戦国大名」を使って、室町後半の変化を書こう。

元寇だけで鎌倉幕府がほろんだわけではない。いくつかの原因が重なった。

# 歴史の流れ 5 戦国・安土桃山

## 前半 大名の争いから全国統一へ

めあて　信長・秀吉の統一事業と、支配を安定させる政策をつなげる。

### 1 まず読んで場面を思い浮かべる

室町幕府の力が弱まると、戦国大名が自分の領地を支配し、各地で争いました。織田信長は、鉄砲の活用や楽市・楽座などで力を伸ばしました。その後、豊臣秀吉が全国統一を完成させ、検地や刀狩で支配の仕組みを整えました。

### 2 重要な言葉を書き込む

語群　兵農分離 ／ 豊臣秀吉 ／ 刀狩 ／ 織田信長 ／ 太閤検地

全国統一を進め、楽市・楽座を行った人物は【1】（　　）である。

1590 年に全国統一を完成させた人物は【2】（　　）である。

秀吉が田畑の面積や収穫量などを調べた政策は【3】（　　）である。

農民から刀などの武器を取り上げた政策を【4】（　　）という。

武士と農民の身分や生活を分けていくことを【5】（　　）という。

### 3 統一までの出来事を整理しよう

語群　徳川家康 ／ 鉄砲

| 年 | 出来事や変化 |
|---|---|
| 1543 年 | ポルトガル人から【6】（　　）が伝わる。 |
| 1560 年 | 信長が桶狭間の戦いで今川義元を破る。 |
| 1573 年 | 信長が足利義昭を追放し、室町幕府が滅びる。 |
| 1582 年 | 本能寺の変で信長が亡くなり、秀吉が統一を進める。 |
| 1590 年 | 秀吉が全国統一を完成する。 |
| 1600 年 | 関ヶ原の戦いで【7】（　　）の側が勝つ。 |

### 4 自分の言葉でまとめよう

「信長」「秀吉」「全国統一」を使って、政治の流れを書こう。

# 歴史の流れ 5 戦国・安土桃山

## 後半 検地と刀狩が社会を変える

めあて　政策の目的を考え、武士の支配と江戸時代へつなげる。

太閤検地では、田畑の面積や収穫量、耕作する人を調べ、年貢を集める基準を整えました。刀狩などによって農民から武器を取り上げ、武士と農民の区別を進めました。統一後も争いは続き、徳川家康が次の政権をつくっていきました。

### 1 政策と支配の仕組みをつなごう

語群　兵農分離 ／ 刀狩 ／ 太閤検地

【1】（　　）で、田畑の面積や収穫量、耕作する人を調べる。
【2】（　　）で、農民から刀などの武器を取り上げる。
武士と農民の区別を進める【3】（　　）へつながる。

### 2 理由や変化を説明しよう

問 1　太閤検地は、年貢を集めることにどう役立ったのだろう。
ヒント　田畑／収穫量／基準

問 2 もう一歩　刀狩などは、なぜ武士の支配を安定させることにつながったのだろう。
ヒント　農民の武器／一揆／武士と農民の区別

### 3 古い順に並べよう

ア　秀吉が全国統一を完成させる
イ　関ヶ原の戦いが起こる
ウ　室町幕府が滅びる
エ　本能寺の変が起こる

古い順（　）→（　）→（　）→（　）

### 4 次へつなぐ

語群　江戸幕府 ／ 徳川家康

関ヶ原の戦いで勝った【4】（　　）は、1603 年に【5】（　　）を開く。江戸時代には、大名を統制する仕組みが整えられる。

「検地」「刀狩」「支配」を使って、秀吉の政策の意味を書こう。

兵農分離は、検地や刀狩などを通じて進んだ。三つの政策が一つずつ順番に行われたという意味ではない。

# 歴史の流れ 6 江戸

## 前半 徳川幕府の支配を整理する

めあて　大名や外国との関係を、幕府の支配の仕組みにつなげる。

### 1 まず読んで場面を思い浮かべる

徳川家康は関ヶ原の戦いに勝ち、1603 年に江戸幕府を開きました。幕府は大名を統制し、参勤交代などで支配を安定させました。外国との交流も厳しく制限しましたが、中国やオランダなどとの交流は続きました。長い平和の中で、農業・商業・交通や文化が発達しました。

### 2 重要な言葉を書き込む

語群　大政奉還 ／ 鎖国 ／ 徳川家康 ／ ペリー ／ 参勤交代

1603 年に江戸幕府を開いたのは【1】（　　）である。

大名を原則 1 年おきに江戸と領地に住まわせる制度を【2】（　　）という。

幕府が外国との交流を厳しく制限した政策を、一般に【3】（　　）という。

1853 年に浦賀へ来航し、開国を求めたのは【4】（　　）である。

1867 年、徳川慶喜が政権を朝廷に返したことを【5】（　　）という。

### 3 幕府の成立から終わりまで

語群　徳川慶喜 ／ 徳川家光

| 年 | 主な出来事や人物 |
|---|---|
| 1603 年 | 徳川家康が江戸幕府を開く。 |
| 1635 年 | 【6】（　　）が参勤交代を制度化する。 |
| 1853 年<br>1854 年 | ペリー来航の後、日米和親条約で開国する。 |
| 1858 年 | 欧米との本格的な貿易が始まる。 |
| 1867 年 | 【7】（　　）が大政奉還を行う。 |

### 4 自分の言葉でまとめよう

「大名」と「参勤交代」を使って、幕府の支配を 1 文で書こう。

# 歴史の流れ 6 江戸

## 後半 開国から新しい政府へ

めあて　鎖国と開国を比べ、幕府の終わりから明治へつなぐ。

参勤交代では、大名に旅や江戸での生活の費用がかかり、幕府が大名の力を抑えることにもつながりました。江戸時代の後半には財政難や人々の不満もありました。開国後は不平等な条約や物価の上昇などへの不満も重なり、薩摩藩・長州藩などを中心に、幕府を倒す動きが強まりました。

### 1 開国と政治の変化を書こう

語群　明治政府 ／ 不満 ／ 開国

ペリー来航の後、日本が【1】（　　）する。
↓
不平等な条約などで、幕府への【2】（　　）が高まる。
↓
幕府を倒す動きが強まり、新しい【3】（　　）が生まれる。

### 2 理由や変化を説明しよう

問 1　参勤交代は、大名の力を抑えることにどうつながりましたか。
ヒント　旅や江戸での生活／費用／大名の力

問 2 もう一歩　鎖国は、外国と全く交流しないことですか。2 つの国名を使って説明しよう。
ヒント　中国／オランダ／貿易

### 3 古い順に並べよう

ア　ペリーが来航する
イ　大政奉還が行われる
ウ　江戸幕府が開かれる
エ　参勤交代が制度化される

古い順（　）→（　）→（　）→（　）

### 4 次へつなぐ

語群　明治維新

幕府が終わり、明治政府が政治や社会の仕組みを大きく変えた一連の改革を【4】（　　）という。藩に代わって府や県を置くなど、新しい国づくりが進む。

「開国」と「新しい政府」を使って、江戸の終わりの変化を書こう。

外国からの圧力だけでなく、国内の経済や政治への不満も、幕府が終わる原因となった。

# 歴史の流れ 7 明治・大正

## 前半 近代国家づくりと政治参加

めあて　国の近代化と、国民の政治参加が広がる流れをつかむ。

### 1 まず読んで場面を思い浮かべる

明治政府は、欧米に追いつくため、国の仕組みを変えました。学校・軍隊・産業を整え、全国を政府が直接治める仕組みにしました。国会を開くことを求める自由民権運動も起こりました。明治には憲法と議会ができ、大正には国民の政治参加を求める動きが広がりました。

### 2 重要な言葉を書き込む

語群　大正デモクラシー ／ 富国強兵 ／ 明治維新 ／ 大日本帝国憲法 ／ 廃藩置県

明治初めに政治や社会が大きく変わった一連の改革を【1】（　　）という。

1871 年、藩を廃止して府や県を置いた改革を【2】（　　）という。

国を豊かにし、軍隊を強くする方針を【3】（　　）という。

1889 年に発布された憲法は【4】（　　）である。

大正時代を中心とする民主主義の広がりを【5】（　　）という。

### 3 国民の政治参加への流れ

語群　伊藤博文 ／ 板垣退助

| 年や時期 | 主な出来事や人物 |
|---|---|
| 1870 年代から | 【6】（　　）らが自由民権運動を進める。 |
| 1889 年 | 【7】（　　）が大日本帝国憲法の制定を中心となって進める。 |
| 1890 年 | 帝国議会が開かれる。選挙権を持つ人はまだ少ない。 |
| 1918 年 | 原敬が本格的な政党内閣をつくる。 |
| 1925 年 | 普通選挙法で、25 歳以上のすべての男子に選挙権。 |

### 4 自分の言葉でまとめよう

「近代化」と「政治参加」を使って、この時期の変化を 1 文で書こう。

# 歴史の流れ 7 明治・大正

## 後半 政治参加の広がりと限界

めあて　憲法や選挙の変化を、国民の政治参加につなげて考える。

自由民権運動は、国会を開き、国民が政治に参加することなどを求めました。大日本帝国憲法では天皇が主権を持ち、初めの選挙権は多額の税を納める一部の男子に限られました。1925 年の普通選挙法でも女性は除かれていました。同じ年に、社会主義などの運動を取り締まる治安維持法もできました。

### 1 国民の政治参加への変化を書こう

語群　男子 ／ 国会 ／ 帝国議会

自由民権運動で、【1】（　　）を開くことを求める。
↓
大日本帝国憲法が発布され、【2】（　　）が開かれる。
↓
普通選挙法で、25 歳以上のすべての【3】（　　）に選挙権。

### 2 理由や変化を説明しよう

問 1　国民が国会を開くことを求めたのは、何を実現するためですか。
ヒント　国民の意見／政治に参加

問 2 もう一歩　1925 年の普通選挙法で政治参加は広がりましたが、どんな限界がありましたか。
ヒント　25 歳以上／男子／女性

### 3 古い順に並べよう

ア　原敬の本格的な政党内閣ができる
イ　帝国議会が開かれる
ウ　普通選挙法が成立する
エ　大日本帝国憲法が発布される

古い順（　　）→（　　）→（　　）→（　　）

### 4 次へつなぐ

語群　世界恐慌

対外関係は、日清戦争 → 日露戦争 → 第一次世界大戦と進む。大戦後の不況などを経て、昭和に入り、1929 年の【4】（　　）が日本の経済にも大きな影響を与える。

この時期の政治参加について、広がった点と残った課題を書こう。

大正デモクラシーの広がりと、思想や運動を抑える動きは、同じ時期に見られた。

# 歴史の流れ 8 昭和・平成・令和

## 前半 昭和の戦争から戦後の日本へ

めあて　戦争と敗戦の順序を整理し、戦後の政治・暮らしにつなげる。

### 1 まず読んで場面を思い浮かべる

世界恐慌の影響で日本でも生活が苦しくなり、政党政治への不信などの中で軍部が力を強めました。日本軍は中国への侵略を広げ、日中戦争、太平洋戦争へ進みました。戦争は日本やアジアの多くの人々の命や暮らしを奪いました。1945 年の敗戦後、日本は民主化と復興を進めました。

### 2 重要な言葉を書き込む

語群　日中戦争 ／ 敗戦 ／ 満州事変 ／ 世界恐慌 ／ 太平洋戦争

1929 年、アメリカから世界に広がった不景気を【1】（　　）という。

1931 年、日本軍が中国東北部への侵略を広げた出来事は【2】（　　）である。

1937 年に始まった、日本と中国との戦争は【3】（　　）である。

1941 年、日本とアメリカなどとの間で始まった戦争は【4】（　　）である。

1945 年、日本は戦争に敗れた。このことを【5】（　　）という。

### 3 昭和から平成と令和への大きな流れ

語群　高度経済成長 ／ 日本国憲法

| 年や時期 | 主な出来事や人物 |
|---|---|
| 1945 年 | 敗戦。占領下で民主化が進む。 |
| 1947 年 | 【6】（　　）が施行される。 |
| 1952 年 | 平和条約が発効し、独立を回復する。 |
| 1950 年代半ばから | 【7】（　　）で経済が発展し、家庭生活や交通が変わる。 |
| 1989 年 | 昭和から平成へ。後にバブル経済が崩壊する。 |
| 2019 年 | 平成から令和へ。情報技術が社会で活用される。 |

### 4 自分の言葉でまとめよう

「敗戦」「民主化」「経済成長」を使って、昭和の変化を書こう。

# 歴史の流れ 8 昭和・平成・令和

## 後半 民主化と経済成長から情報社会へ

めあて　昭和・平成・令和の変化と、生活をよくする課題を考える。

戦後、国民主権・基本的人権の尊重・平和主義を三原則とする日本国憲法が施行されました。高度経済成長の後、平成にはバブル経済の崩壊や大きな災害も経験しました。平成から令和にかけて情報技術が広がり、暮らしや学び方が変化しました。

### 1 戦後から現在までをつなごう

語群　インターネット／国民主権／バブル経済

昭和の戦後、日本国憲法で【1】（　　）を定める。
↓
高度経済成長の後、平成に【2】（　　）が崩壊する。
↓
平成から令和にかけて【3】（　　）が普及し、情報のやり取りが変わる。

### 2 理由や変化を説明しよう

問 1　高度経済成長は、暮らしによい変化とどんな課題をもたらしたのだろう。
ヒント　電気製品や交通／公害

問 2 もう一歩　インターネットで学ぶとき、便利な点と気をつけたい点を一つずつ書こう。
ヒント　調べる・遠くとつながる／情報の正しさ

### 3 古い順に並べよう

ア　令和が始まる
イ　日本国憲法が施行される
ウ　平成が始まる
エ　日本が敗戦する

古い順（　）→（　）→（　）→（　）

### 4 現在の社会につなぐ

語群　令和／平成

1989 年に【4】（　　）、2019 年に【5】（　　）が始まる。少子高齢化、防災、環境などの課題を、政治への参加や国際協力を通じて考えていく。

「戦後」「平成」「令和」を使って、この単元の変化をまとめよう。

昭和は 1926 年、平成は 1989 年、令和は 2019 年に始まる。1989 年と 2019 年は、年の途中で元号が変わった。